

映画と美術のあいだ- 日本と韓国の 映像作品を中心に

2019年11月17日(日)
13:00-16:00

明治大学中野キャンパス・ホール(低層棟5階)

現代美術分野で国際的に活躍する日本と韓国のアーティストを招いた映像作品の上映とディスカッション。20世紀における日韓の文化的記憶をめぐる二つの上映作品は、美術館のなかで展示(インスタレーション:installation)という形式で発表された。ブラックボックスと言われる映画館とは異なる環境のなか、展示室内を移動する観客に向けて、二人の美術作家はいかなる方法論で空間と時間を演出(installing time in space)したのだろうか。本特別講義では、現代映像芸術表現の射程を検証し、展示と上映という二つの鑑賞形式における観客性(spectatorship)を分析する。

上映作品

藤井光《2・8独立宣言書|日本語で朗読する》(2019)

ナム・ファヨン《イムジン河》(2017)

*両作品ともに日本初公開、短縮版上映

講師

藤井光氏(美術作家・映画監督)

ナム・ファヨン氏(美術作家)

コメン テーター

山下宏洋 イメージフォーラム・ディレクター、映画プログラマー

大坂紘一郎 ギャラリーASAKUSA代表

多田かおり 東京都写真美術館恵比寿映像祭キュレーター

進行

馬定延 特任講師

使用言語

上映 藤井:日本語・英語+韓国語字幕

ナム:日本語+韓国語・英語字幕

ディスカッション:日本語/韓日逐次通訳

対象

国際日本学部生・他学部学生・外部公開

協力

明治大学

現代日本パフォーミング・アーツ研究所